

学校運営協議会の運営を応援します

～人と人とのつながりづくり・地域づくりを進めます～

いよいよ学校運営協議会制度が始まりました。会を進める上で少しでもお役に立てればと願い、このたよりを発行させていただきました。**各学校がそれぞれの学校・地域の実態に応じた組織づくりを行い、その役割を機能させていっていただきたい**と思います。何か質問や疑問などがございましたら、生涯学習課までお問い合わせください。

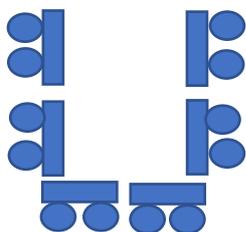
(☎ 21-5182)

★まずは会場のレイアウトに一工夫★

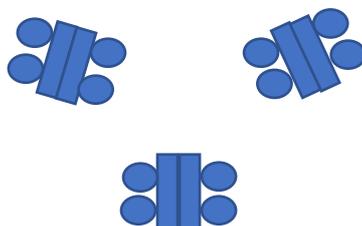
20人くらいまでの会議は、コの字型にすることが多いのではないのでしょうか。コの字型はお互いの顔を見あうことはできますが、人数が多いため発言する人が限られたり、せっかく会に参加しても少ししか話ができなかつたりしがちです。なかには緊張して意見が言いにくいと感じる方がいらっしゃることもあります。そのため、**意味のある意見交換や方針に対して積極的な意見交換を期待する場合には、コの字型から3～4人程度の小グループ型**に転換できるようにしておくとうよいでしょう。

最初から小グループを作ることができる環境であれば、その方法で進めましょう。

[コの字型]



[島型]



[グループイングの方法(例)]

- くじで座席を決める
- 来校した順に座っていただく
- 会議毎に座席を指定し変えていくことで、多くの委員と話ができるようにする 等

★ファシリテーターの役割について★

会を進行するのは教頭先生か地域連携教員でしょうか。その方々が、会を和やかな雰囲気で行進することができるよう、次の点について知っておくとよいと思います。

【ファシリテーターって何？】

○ワークショップを進行する人(促進者)

【ファシリテーターの心得】

○話しやすい雰囲気づくり

- ・まずは、ファシリテーターが可能な範囲で心を開く
- ・笑顔で気軽に話しかける
- ・腕組みはしない

○参加者の言いたいことを共感しながら聴き出す

- ・参加者の目を見て、うなずきながらよく聴く：「うん、うん」、「はい、はい」
- ・相づちを打ちながら聴く：「なるほど」、「そうなんですね」
- ・復唱しながら聴く：「〇〇〇〇なんですね」

○参加者に手を差しのべる

- ・参加者が困っている時に、、、(何かお困りですか)
- ・参加者が黙っている時に、、、(考え中ですか、特に思いつかないのも OK です、次の方に向かってよろしいですか、等)
- ・参加者が話すきっかけをつかめない時に、、、(話の切り口を差しのべる)

【ファシリテーターの小道具】(必要に応じて準備しましょう)

○飲み物等(お茶、あめ、お菓子等) ※コロナ禍以降を想定

リラックスした雰囲気の中で活動できるよう準備することもあります。

○付箋紙(文字が見やすい大きさがいいですね)

参加者の意見などを記録として残したい時に有効です。

○時間を知らせるベル(鈴、ダックコール、キッチンタイマー等)

会場の雰囲気を和らげるような音が出るものがよいでしょう。

○BGM、花

何気ない音楽や花などは参加者の心を和ませます。

★ファシリテーターがもっているとよいエピソードのテーマ例★

学校運営協議会で、話しやすい雰囲気づくりをすることはとても重要です。委員の皆様が忙しいだろうからと短時間で話を進め終了してしまうのではなく、会を**貴重なつながりづくりの場**ととらえ、次のようなエピソードのテーマを取り上げ、話をしてはどうでしょうか。同様のテーマを校長先生のあいさつにも入れ話をしていただけると、会がとても和らぎ、よい雰囲気になります。

- ♡子どもの頃の夢
- ♡子どもの頃の自分
- ♡好きな給食の献立
- ♡私の“推し（おし）”
- ♡ラーメン屋や食堂でたのむメニュー
- ♡最近食べておいしかったもの
- ♡最近あった心あたたまる話
- ♡最近買ったもの
- ♡最近読んだ本や雑誌で印象に残っていること
- ♡最近した失敗（話をしてもよい内容）
- ♡こう見えて実は、、、で始まる話
- ♡地域・地元の自慢

★第一回学校運営協議会の進め方(例)★ (委員は12名で想定)

進行：地域連携教員の場合

[会場レイアウト]：4人×3グループ(くじで決定)、BGMを流しておく、5円チョコを置いておく(5円=“ご縁、がありますように”)

～委員同士、委員と学校担当者が仲良くなるのがねらい～

1. 開会

2. 校長あいさつ

「子どもの頃の夢」のエピソードを入れたやわらかなあいさつ←これが重要

3. 任命書の授与

授与者：市教育委員会生涯学習課長(または職員)や校長先生から

4. 自己紹介(進行以外の学校参加者も各グループに分かれて入る)←これが大切

(1) アイスブレイク(実施時間によって内容を決める)

※時間がない場合は、“3・2・1の合図で、お互いに顔を見合わせ、「笑顔でよろしくお願いします”、←なごみますよ

(2) グループ内で自己紹介

- ① 話をする順番を決める(例：誕生日順)
- ② 話をする時間を伝える(例：各自〇分、グループで10分など)
- ③ 話すテーマを伝える(例：お名前、子どもの頃の夢)
- ④ 各自の話が終わったら拍手をする←これはうれしいものです

5. 協議(進行者：地域連携教員)

- (1) 学校運営協議会の規約の説明(説明者は教頭先生)
- (2) 学校経営方針の説明と質疑(説明者は校長先生)
- (3) 学校経営方針の承認(承認の是非：進行者)←承認をいただく=学校経営の具現化に向け、委員の皆さんが一緒に汗を流してくれることを確認できた。“重要”
- (4) 授業を参観(時間を決めて、各学年、学級の授業の様子を参観する)
- (5) (4)終了後、感想や疑問に感じたことについて話をする。

- ① グループ内で話をする。
- ② ①について全体で共有する。

6. ふいかえり(第一回を終えて、感じたことや気づいたことについて話をする)

- (1) グループ内で話をする。
- (2) (1)について全体で共有する。

7. 閉会(次回の予定を伝え閉会) ※最後はグループの方々や全員に大きな拍手で終了

発行：日光市教育委員会事務局生涯学習課

☎ (21) 5182

担当：湯澤・福田

FAX (21) 5185